

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	総合国語 I B
科目基礎情報					
科目番号	0005	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	国際ビジネス学科	対象学年	1		
開設期	前期	週時間数	2		
教科書/教材	「国語総合 現代文編」「国語総合 古典編」(大修館書店)				
担当教員	岡部 寛子				
到達目標					
義務教育レベルの国語力の復習と定着を目指すとともに、論理的文章および文学的文章を根拠に基づき論理的に理解する能力を育てる。漢字や語句についても、まずは義務教育レベルの復習と定着を目指す。小論文を書く力の土台を築く。日本人が古来愛読してきた古典を読み理解することで、日本人としての基礎的教養と多用なものの見方を身につける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	古文の歴史的仮名遣いに基づいて内容を把握して音読し、現代の言葉で内容を説明することができる。	古文の歴史的仮名遣いに基づいて内容を把握して音読することができる。	古文の歴史的仮名遣いに基づいて音読し、内容を把握することができない。		
評価項目2	評論文の構成を把握し、論理を追って読み取り、主題を表現することができる。	評論文の構成を把握し、論理を追って読み取り、主題を読み取ることができる。	評論文の構成を把握し、論理を追って読み取り、主題を読み取ることができない。		
評価項目3	自分で興味を持ったものを調べ、わかりやすくレジュメにまとめて発表することができる。	自分で興味を持ったものを調べ、レジュメにまとめて発表することができる。	自分で興味を持ったものを調べ、レジュメにまとめて発表することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
ディプロマポリシー 3					
教育方法等					
概要	義務教育レベルの国語力の復習と定着を目指すとともに、論理的文章および文学的文章を根拠に基づき論理的に理解する能力を育てる。漢字や語句についても、まずは義務教育レベルの復習と定着を目指す。日本人が古来愛読してきた古典を読み理解することで、日本人としての基礎的教養と多用なものの見方を身につける。				
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、音読等による授業参加を加えて理解を深める。による講義形式で行うが、音読等による授業参加を加えて理解を深める。				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関連科目 内容の関連：総合国語IA・総合国語IB(後期) コミュニケーション能力：外国語・保健体育 人間の探求と複眼的思考：歴史・政治経済 ◆ 受講する皆さんへのメッセージ： <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の積極的な参加、発言、介入を期待している。 ・ 双方向のやりとりを増やし、理解の定着を目指す。 ・ 理解度を確認し進めるため、シラバスの若干の変更はあり得る。 ・ 的確な板書を心がけ、ノートをとる時間を確保する。 ・ 評価が60%に満たない学生には、追認試験を行うことがある。 				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 古典入門	この講義のオリエンテーションを行う。 古典を学ぶことの意味を考える。 兎のそら寝を通して、読みの規則を把握する	
		2週	絵仏師良秀	「絵仏師良秀」の冒頭を分析し、内容を理解することができる。古典文法の基礎についても理解することができる。	
		3週	絵仏師良秀	「絵仏師良秀」の後半を分析し、内容を理解することができる。古典文法の基礎についても理解することができる。	
		4週	絵仏師良秀	「絵仏師良秀」の全体を分析し、内容を理解する。古典文法の基礎についても理解することができる。『宇治拾遺物語』や『今昔物語』をもとにした近代以降の小説を調べて紹介する。	
		5週	水の東西	全文を読み、全体の構成を考え、おおよその論の展開を把握することができる。	
		6週	水の東西	構成を念頭に置き、各段落の役割を把握し、細部を理解することができる。	
		7週	水の東西	構成を念頭に置き、各段落の役割を把握し、細部を理解することができる。東西の文化の違いを1つを例にとって、紹介することができる。	
		8週	前期中間試験	これまでの理解を確認する。	
	2ndQ	9週	徒然草 奥山に猫またといふもの	徒然草の文学史的な位置づけを説明できる。「猫また」を音読し、内容を現代語で説明することができる。	
		10週	徒然草 ある人弓射ることを習ふに	「ある人弓射ること」の文章を音読し、内容を現代語で説明することができる。兼好の主張を説明することができる。	
		11週	徒然草 花は盛りに	「花は盛りに」を音読し、内容を把握し説明することができる。兼好の美意識を理解し、説明することができる。	
		12週	美しさの発見	全文を読み、全体の構成を考え、おおよその論の展開を把握することができる。	

		13週	美しさの発見	構成を念頭に置き、各段落の役割を把握し、細部を理解することができる。
		14週	美しさの発見	構成を念頭に置き、各段落の役割を把握し、細部を理解することができる。高階秀爾の「名画を見る眼」から1つを読み、紹介することができる。
		15週	期末試験	既習事項の確認と定着を図る。
		16週	前期期末試験の返却と解説	答案返却

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	75	10	0	0	0	15	100
基礎的能力	75	10	0	0	0	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0